

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

塗りつぶしの日は休館です。

『世界最凶のスパイウェア・ペガサス』
ローラン・リシャル/早川書房/007.3リ
イスラエル企業が開発したスパイウェア「ペガサス」。スマートフォンにインストールされるとあらゆる情報に外部からアクセス可能になる。世界中の強権・専制国家で盗聴・監視・脅迫に使われるスパイウェアの戦慄の実態を暴く。

『倭寇とは何か』
岡本隆司/新潮社/222 枳
秀吉の海賊禁止令以降も「倭寇」は存在していた、「倭寇」も「アヘン戦争」も「中国革命」も根は同じ…。グローバルな視点から東アジアの長期的な構造を捉え直し、「海賊」が中華の秩序を揺さぶり続けている状況を解き明かす。

『女性から虐待されている男性へ』
アン・シルバース/明石書店/367.5シ
男性自身が問題解決や相談を避けるため実態がみえにくい、女性から男性に対する虐待。女性は、なぜ、どのように虐待や支配を行うのか、男性はなぜ、そのような関係に陥いるのか。虐待の形態と具体的な事例に基づき解明する。

『そのせき、ぜんそくかもしれません』
宮崎雅樹/自由国民社/493.3ミヤ
つらい咳の原因は「ぜんそく」かもしれません。呼吸器専門医が、咳が出ないためにはどうしたらいいのか、どんな生活習慣をしたらいいのか、咳をコントロールするために必要な知識を紹介する。ぜんそく症状チェック付き。

『和楽器の世界』
西川浩平/河出書房新社/768.1ニシ
美しく精巧な作り、奥深い音色と響き。日本の伝統芸能に欠かせない和楽器を「弾きもの」「吹きもの」「打ちもの」に分けて、豊富な写真でカラー図解。雅楽・能・狂言など、日本の伝統芸能の世界も紹介する。

『戦後とは何か』
三島由紀夫/中央公論新社/914.6ミシ
三島由紀夫の戦後観に関するエッセイ、昭和 20 年代の社会評論および自身と自作をめぐるエッセイ、短篇小説「鍵のかかる部屋」を収録する。兇暴で抒情的な「悪時代」を映す 20 代作品集。

『本の江戸文化講義』
鈴木俊幸/KADOKAWA/023.1スズ
江戸時代になって日本は初めて書籍が豊富にある時代を迎え、普通の人びとにとって書籍が身近なものとなり、本屋がたくさんできた。書籍商売の歴史をつぶさにたどり、書籍や文芸などの文化的産物やさまざまな事象を俯瞰する。

『カブラの冬』
藤原辰史/人文書院/234 フジ
第一次世界大戦期にドイツで発生した飢饉の事実を、当時の新聞や文献、あるいは欧米・日本での研究成果に依拠しつつ紹介・整理。民衆のプロテスト、その後の時代への影響にも触れる。

『いちねんせいになったら大全』
小学校教師ハチ/ロングセラーズ/376.2ヨ
これさえ押さえておけば大丈夫！ 小学校に入学するまでやっておいたほうがよいことを、日常生活と学習に分けて紹介。小学 1 年生の学校生活や、学習面でよくある国語と算数のつまずきについても解説する。Q&A も掲載。

『あたらしいみそおかず』
ワタナベマキ/文化学園文化出版局/596 ワ
発酵食品としても人気のみそは、しょうゆや塩のように気軽に使える万能調味料。みそ漬け、みそ味のおかず、アジアのみそおかず、みそおやつ、季節のみそ汁などを紹介。保存袋で少量のみそを手作りする方法も掲載。

『がまんさせないスポーツ栄養指導法』
笹竹英穂[編著]/大修館書店/780.1ササ
無理な食事制限や厳しい食事のルールはアスリートの競技力向上に逆効果。がまんだらけのスポーツ栄養を脱却し、選手が受け入れやすい心理学的アプローチによる新しいスポーツ栄養指導を提案する。

『ロンドンの姉妹、思い出のパリへ行く』
C. J. レイ/東京創元社/933 レイ
ロンドンに住む 99 歳のジョゼフィーンと 97 歳のペニーの姉妹。第二次世界大戦に従軍した姉妹に、戦時中のフランスへの働きに対して勲章が授与されることに。2 人は甥の息子アーチャーと一緒にパリへと向かうことにするが…。

『世界の卵料理』 塩川純佳/講談社/596.3 ショ

ウーロン茶卵、デビルドエッグ、目玉焼きのサラダ、スペイン風オムレツ、トマトと卵の煮込み、卵とレモンのスープ…。世界 36 개국以上を食べ歩いた料理研究家が、現地で出会った極旨卵料理を食べやすく再現したレシピ集。
料理は卵に始まり、卵に終わるといわれるほどなじみの深いもの。味わい尽くしましょう！



『蔦屋重三郎見るだけノート』
安藤優一郎[監修]/宝島社/210.5 アン
一代で江戸有数の大版元にのし上がった蔦屋重三郎。なぜ重三郎は成功できたのか。当時の社会情勢や重三郎を取り巻く人間関係などを、イラストを用いて時系列で解説する。

『国連入門』
山本栄二/筑摩書房/329.3 ヤマ
国連はなぜ戦争を止められず機能不全に陥ったのか。国連日本代表部に勤務した元外交官の経験と、研究者の体系的理解と分析によって国連の実像に迫る。最先端の情勢と研究を知るために有益な入門書。

『図説ヨーロッパ服飾史』
徳井淑子/河出書房新社/383.1 トク
モードは人を語り、時代を映す。9～20 世紀初頭まで、ヨーロッパにおける装いの歴史を豊富な図版とともに概観しながら、衣服が放つ多様なメッセージを解説する。

『雑草を攻略するための 13 の方法』
谷本雄治/山と溪谷社/615.6 タニ
踏みつけろ！ 丸刈りだ！ 土を入れ替えろ！ 光を遮れ！ ヤギに食わせろ！ 「猫の額」というたとえがぴったりの小さな家庭菜園。そこにはびこる雑草に、とっておきの 13 の方法で立ち向かう。

『漢字はこうして始まった』
落合淳思/早川書房/821.2 落
3000 年以上前、中国最古の王朝「殷」で発明され、部族固有のシンボルとして青銅器に鑄込まれた原初の漢字「族徽」。謎に包まれた古代社会の実態と文字の起源を、徹底的な分析で鮮やかに解き明かす。

『星の教室』
高田郁/角川春樹事務所/F 髙
中学の卒業証書を受け取っていないさやか。義務教育さえまともに終えていないという枷が、彼女を生き辛くさせていた。しかし、20 歳の春、夜間中学に入学する。仲間たちに支えられて過ごす日々が、さやかの心を解きほぐし…。

『昭和 100 年地図帳』
平凡社[編]/平凡社/210.7 へい
昭和が 100 年に到達する 2025 年。昭和元年当時を表す都道府県図と令和 7 年の都道府県図を掲載し、統計データや年表とともに、都道府県の 100 年の変遷を振り返る。

『私が選ぶ高齢期のすまい活』
近山恵子/彩流社/365.3 近
高齢期や退院後、一人暮らしは本当に無理なのか？ 高齢者の自立と共生のコミュニティ作りを長年手がけてきた女性 3 人が、「自分らしい暮らし」を最期まで目指すために、どんな準備をすればいいのかを具体的にアドバイスする。

『一九三〇朝鮮人生徒の日記』
原智弘/帝京大学出版会/384.5 ハラ
日本統治下の朝鮮に生まれ育った 14 歳の少年が残した、1 冊の古ぼけた日記帳。その各ページには、京城府での好奇心あふれる青春の日々が綴られていた…。韓国・ソウルの古本屋で入手した、1930 年の日記を読み解く。

『吉田初三郎鉄道鳥瞰図』
益田啓一郎/三オブックス/686.2 マシ
大正時代から昭和初期にかけて、鉄道省国際観光局の初代嘱託画家として日本の観光ブームの中心に位置した不世出のグラフィック絵師、吉田初三郎。大衆を惹きつけた初三郎の鉄道鳥瞰図全 60 点を収録。

『爺の流儀』
嵐山光三郎/ワニブックス/914.6 さん
年をとったら、ヨロヨロと下り坂を楽しめばいい。落ちめの快感は、成り上りの快感に勝る。嵐山流・すすく老いるための秘策、老いの流儀などを綴る。『週刊朝日』連載を加筆・修正、再構成。

『月収』
原田ひ香/中央公論新社/F ハラ
年金暮らしで月収 4 万円の 66 歳から、株や投資信託で月収 300 万円ある 52 歳まで、それぞれの月収に見合う生活を送る 6 人が織りなす、お金をテーマにした人間ドラマ。『婦人公論』連載を加筆修正。

図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。
また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

※メールアドレスを変更された場合はご自身でホームページより変更手続きをお願いします。



スマホ用ホームページ